

とらいあんぐる



2018 年 6 月

一音会ミュージックスクール発行

「ピアノの欠点」

ピアノは、よく「楽器の王様」といわれます。

それくらい、優れた楽器、ということです。本当にその通りだと思います。

1つの楽器で、オーケストラにも匹敵する音域をカバーします。

同時にたくさんの音を出すことができます。だから、ソロの演奏がなりたちます。伴奏を必要としません。

一音会は、ピアノ教室ですから、こうして一生懸命、ピアノをほめてみます。

幸いなことに、ほめるべきところは、たくさんあります。

ですが今回は、あえてピアノの欠点も考えてみます。

「王様」といいつつ、案外、欠点もすぐに思いついてしまうことに、苦笑します。

まず、大きすぎる。ジャマ！

重たい。簡単に持ち運べない。

これらは、まさに「王様」の欠点です。

あと、値段が高い！

それから、これも欠点に入れて良いかもしれません。

難しい！

ピアノはとにかく難しい楽器です。

複雑な曲を弾けるかわり、その難しさは、楽器の中でトップクラスであることは間違いありません。

それだけに追求の楽しさがあるとはいえ、やっぱり難しい楽器です。

案外、分かりやすい欠点がこれだけありながら、それでも人生ではじめて習う楽器としてピアノを選ぶ人が圧倒的に多いのは、やはりピアノが優れた楽器だからでしょう。

そして、ピアノの特性に、「誰でも正しい音を出せる」という点があるからかもしれません。

これも、ピアノが他の多くの楽器とちがう点です。

「ちゃんと音を出せるようになるま



でがたいへん」という楽器も多いものです。

まともな音色の音を出せるようになるまで、その後、正しい高さの音を出せるようになるまで、とことん自分の出す、美しいとはいえない音につきあわなくてはいけない楽器にくらべ、ピアノという楽器の入り口は、本当にスムーズです。

ピアノはちゃんと調律してあれば、初心者がすぐに正しい音を出すことができます。正しい鍵盤を指で押すだけで良いのですから、こんなに簡単なことはありません。

しかし、この点は、長所のようにいって、ピアノの欠点なのかもしれません。もしかしたら、ピアノの最大の欠点なのではないか、とさえ、私は思うのです。

ピアノ教室が、ピアノの欠点を声高にいうのは、本当におかしなことです。

ですが、この場をかりて、いってしまします。

ピアノという楽器は、自分の耳を使

わなくても、弾くことができってしまう楽器です。

正しい鍵盤を弾いてさえいれば、正しい音が出るのが保証されている楽器だからです。

常に耳を使って、自分の出す音を確認し、正しい音を作っていかななくてはならない楽器とは、大きくちがいます。

正しい読譜力と正しい指の運動があれば、正しく弾けてしまうのです。

「それで良いじゃないか」という意見もあるかもしれません。

ですが、文章の内容も理解せず、ただ文章をスラスラ読めたら良いか？というと、それは誰しも「ちがう」と思うでしょう。

そういう朗読は、本人も楽しくなければ、きく人の感情を動かすこともありません。

頭を使わずに、ただ文章を棒読みする、それと同じ状態に陥りやすいのが、ピアノです。

「耳を使って音を出す」という演奏の基本が必要とされないのは、やはり

ピアノという楽器の最大の欠点だと思います。

弾いている間、とにかく譜読みと指が忙しい、ということも、耳を使わずに弾いてしまう一因になっているでしょう。

弾くことと切りはなし、聴くことだけに集中する「リトミック」や「ソルフェージュ」のレッスンを、一音会が「本科」として定めている理由が、実はこれです。

「一音会はピアノ教室なのに、なぜリトミックが必修なのですか？」というご質問を、よくいただきますが、それはピアノの欠点を補うレッスンがどうしても必要だからです。

さて、リトミックでお耳を使うおけいこをしている生徒さんも、さらになんばってほしいことがあります。

それは、「自分の中に、聴き手を作ること」です。ピアノを弾いている時、自分の中に“お客さん”がいて、その人に聴かせるつもりで弾いてほしい、と思うのです。

“お客さん”は、いつも自分の中にいます。おうちで一人で練習している時も、その“お客さん”が聴いています。

“お客さん”を意識することで、「ここをもりあげよう」、「この部分はちょっと感じを変えてみたい」という“演出”が生まれます。

どうやったら、“お客さん”を作ることができるか？

もっとも直接的な方法は、本物のお客さんに聴かせる、ということです。

人前で弾く経験は、「聴かせる」ということを意識するきっかけになります。

また、自分がお客さんになる経験も有効です。

それも、自分に近い演奏のお客さんになるのが良いです。

すぐれたピアニストやオーケストラのコンサートやCDも、もちろん良いのです。ですが、やはり自分の演奏とは別世界、「わーすごーい」という感想になりがちです。

自分の中の“お客さん”を作るには、

自分と同じくらいの演奏だと、なお良いと思います。

同じピアノ、同じくらいの年齢のお友だち、同じくらいの曲の難易度・・・そんな演奏にふれると、そこに自分を重ねることができます。

そう、もうすぐ発表会です。

ぜひ、自分の中に“お客さん”を得てください。

すでに“お客さん”のいる生徒さんは、その“お客さん”をさらに成長させてください。

自分の中にいる“お客さん”が、お耳が良く、表現に妥協なく、要求の高い人であるほど、この先、演奏を磨くことを手伝ってくれる人になることでしょう。 (江口 彩子)



◆「ピアノ発表会」が近づいてきました

すでに「発表会のお知らせ」をお配りしています。まだお持ちでない方は、ピアノの担当の先生か、ショパンはうす受付に、ご請求ください。

今年のピアノ発表会は、下記の通りです。

8月3日(金)・4日(土)・5日(日)・6日(月)

成増アクトホール

東京都板橋区成増3-11-3

東武東上線「成増駅」下車2分

東京メトロ有楽町線/地下鉄成増駅下車5分



「アクトホール」は、昨年もピアノ発表会で利用した会場です。広さと駅からのアクセスの良さで、好評いただいています。

現在、お配りしている「発表会のお知らせ」の中に、黄緑色の「ピアノ発表会・申し込み用紙」が入っています。ご記入の上、担当の先生、もしくは「ショパンはうす」受付にご提出ください。本部にFAXしていただくのもけっこうです（本部FAX

番号：03-3957-8864)。

ご提出の〆切は、6月24日(日)です。

この用紙は、お手数ですが、ご参加になれない方にも提出していただきたいと思っています。過去に、申し込み用紙をお出しになっていない生徒さんを不参加としていたところ、用紙を提出し忘れていただけだった、ということが多くありました。そういった事態を防ぐために、不参加の場合にも、念のため、その旨の意思表示をいただきたいと思っています。お手数ですが、ご協力をよろしくお願いいたします。

申し込み用紙には、参加希望日も書いていただくようになっています。できるだけ、ご希望にそうようにいたしますが、例年、曜日によって、ご希望人数が極端に違ってしまふことがあり、その場合には個別にご相談の電話をおかけすることがあります。どうぞご理解ください。

お申込みいただいた後で、日程的なご都合が変わった場合は、できるだけ早くご連絡ください。

昨年まで、土曜日と日曜日で、参加費が異なりましたが、今年は日曜日の参加費を値下げし、土曜日と同じ金額としました。



◆リハーサル・トライをおこないます

「ピアノ発表会」当日は、時間の関係で、リハーサルの時間をご用意することができません。また、当日のリハーサルよりも、少し前にリハーサルをおこなった方が「もっとこうの方が良かった」という、リハーサル時の反省を本番に生かしやすいということ、私どもは経験から確信しています。

そのために、「リハーサル・トライ」をおこなっています。「リハーサル・トライ」とは、文字通り、リハーサルです。あわせて、人前で演奏する経験を積む、グランドピアノで演奏してみる、普段のレッスン以外の先生に見てもらう、等といった目的も持っています。どれも、演奏にみがきをかけるために、大切なことばかりです。

くわしくは、「発表会のお知らせ」にはさみこんであるプリントをごらんください。ピアノ発表会参加予定の生徒さんは、無料でお受けいただくことができます。

イメージとしては、「ミニ発表会」です。ご希望いただいた時間帯の生徒さんの中で、発表していただきます。

グループには、経験豊かな先生がつきそい、進行にあたります。もし演奏に改善点があった場合には、担当の先生に連絡をします。生徒さんご本人に直接伝えて、混乱させることはありませんので、ご安心ください。

本番のような気持ちで、事前に一度、演奏をしておくと、やはり違うものです。それは、これまでに「リハーサル・トライ」を活用された多くの方がおっしゃることで

すべての生徒さんが、本番で、持てる力を存分に発揮することができますよう、私どもスタッフも、全力でお手伝いいたします。

「リハーサル・トライ」の場所は、基本的には「ヘンデルはうす」103か204のお部屋を予定しています。

各曜日に、「リハーサル・トライ」の時間帯をもうけますので、ご都合の良い日時をお選びになって、お申し込みください（発表会のお申し込みとは別に、お申し込みいただく必要があります）。

お申し込み〆切は6月24日（日）です。ご不明な点は、本部まで直接、おたずねください（03-5966-7711・担当：矢島、伊藤）。

◆リトミック演目を拡充します

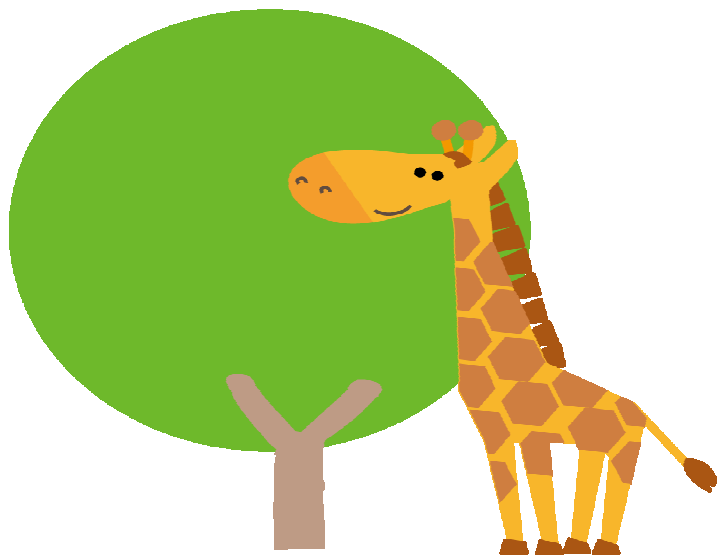
今回、発表会のお知らせの中に、「リトミック発表のお知らせ」をはさみこんでいます。リトミック発表の生徒さん以外の生徒さんにも、ぜひお読みいただきたいと思っています。そしてぜひ、かわいらしいひよこちゃん、きりんさんの演目を観にいらしてください。

「ひよこちゃん」と「きりんさん」の演目は、未就学の生徒さんの演目です（一部、クラスによって、1年生を含みます）。

「ひよこちゃん」や「きりんさん」にご出演される生徒さんが、ピアノ演奏でもご出演される場合、ピアノ発表の参加費のみでけっこうです。実質、無料でご参加いただけますので、ぜひふるってご参加ください。

すでにクラスでは、練習がはじまっています。レッスンの時の練習だけでなく、おうちでもDVDを観ながら、練習してみてください。

DVDは、無料でお配りしています。まだお持ちでない方は、担当の先生からもらってください。DVDではなく、スマートフォンなどのモバイルでご覧になりたい方は、リトミックのお部屋の扉にQRコードを貼っていますので、それを読み取って、ご覧ください。



「ひよこちゃん」と「きりんさん」にご出演される生徒さんのリハーサルは、すでにご案内していますように、2日間、予定しています。お忙しい中、また暑い時期で

はありますが、どちらか、あるいは両方、ご都合をつけておこしてください。

「リハーサル・トライ」同様、「リハーサル」は無料です。

1回目 7月16日（海の日）

ひよこちゃん 11:30～12:30

きりんさん 13:00～14:00

2回目 7月29日（日）

ひよこちゃん 11:30～12:30

きりんさん 13:00～14:00

場所 ひびきホール（豊島区南長崎5-8-12）

「ひびきホール」は、西武池袋線「東長崎」駅、南口より徒歩7分、「まいばすけっと」の3階です。



舞台上上がることがはじめての生徒さんも、多くいらっしゃるでしょう。本番で、びっくりして泣いてしまい、練習してきたことが発揮できないことがあります。

広い場所でやってみたり、知らないお友だちといっしょにやってみたり、本番に近い環境に慣れておくことをおすすめします。ご家族の皆さまのご協力を、よろしくお願いいたします。

◆発表会費の引き落としについて

発表会費は、7月27日（金）の8月分お月謝引き落とし時に、お月謝と一緒に、お引き落としさせていただきます。よろしくお願いいたします。

◆時節のご挨拶など ご遠慮いたします

入会時にも「ガイドブック」にてお知らせしておりますが、一音会では、お中元、お歳暮、発表会のお礼などを、スクール、先生個人に関わらず、一切ご遠慮させていただいております。どうぞご理解のほど、よろしくお願いいたします。



*スクールの生徒さんのご質問を、以下の2つの方法で受け付けています。

メール：1000@ichionkai.co.jp

電話：03-3954-9999

*お電話での質問時間は、毎週月曜日の午後7時～9時です。ただしレッスンがお休みの日は、質問もお休みとさせていただきます。

*ご質問は、お一人でも多くの方のご質問にお答えするために、お1人10分を目安とさせていただきます。ご了承ください。